

フィリピンの地方行政官が 先進の日本における防災の取組みを学ぶ！ ～川崎発の GIS(地理情報システム)を活用した防災技術をフィリピンに導入～

2016年11月14日(月)から19日(土)まで、フィリピン国パンガシナン州(以下、パ州)や州内の地方自治体の防災分野関係者が10名来日し、横浜市や静岡県などの地方自治体で、(株)インフォマティクスのGeoCloud¹システムの活用現場を視察します(日程:裏面参照)。

フィリピン国は、台風、洪水をはじめとして、土砂災害、火山噴火、地震など数多くの自然災害に見舞われ、東南アジアにおいて自然災害が最も多い国の一つです。市民の災害への危機感是非常に強いのですが、地方行政レベルでは防災関連情報がまとまって管理されておらず、災害リスクを理解し、それに見合った減災・避難等の対策の立案を行うことが困難な状況にあります。また、災害発生時に迅速に意思決定できるような情報の統合整理や加工が行われておらず、災害時の安全かつ早期の避難誘導が十分ではありません。

(株)インフォマティクス(川崎市)は、2016年3月よりJICAのODAを活用した「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～²」として現地での防災事業に取り組んでおり、10月には同社の「GeoCloud型GIS(地理情報システム)」の操作トレーニングがパ州と1市町の関係者に対して行われ、テスト運用が開始されました。今回の訪日で、地方自治体によるシステム利用状況の把握や担当者との意見交換などを通じて、フィリピン国で有効な防災システムの導入と活用の方法を検討します。今後は、新たに防災情報データベースを構築し、信頼性の高い情報に基づき、台風・洪水などの緊急度の高い災害に対する防災計画を作成し、訓練を実施していきます。(株)インフォマティクスは、JICA事業をきっかけとし、将来的にはパ州全体からフィリピン国内、更には支援を必要とするその他地域でのシステム普及事業の展開を目指しています。



マニラ首都圏市街地の降雨後、浸水時の様子(参考)



防災業務におけるシステム運用のためのワークショップ

¹ インフォマティクス社が開発した、インターネット経由でGISの利用を可能にするクラウドサービス。高機能で、拡張性が高く、業務アプリとの連携もしやすい点が特徴。

² 2012年より、国際協力機構(JICA)が中小企業海外展開支援事業として行っている事業の一つ。途上国の社会経済の課題解決に有効に活用し得る中小企業の製品・技術を、現地での適合性を高めるための実証活動などを通じて、その普及方法を検討し、同時に企業の海外事業展開の実現を探るものです。

4日間の日程で、日本での実践例を学ぶほか、横浜市や静岡県などの協力を得て施設見学や意見交換などを行います。官公庁、地方自治体をはじめ GIS を多くのユーザーに提供している同社のシステムが東南アジアで初めて導入されるこの機会に、取材を是非ご検討ください。

【本件に関する問い合わせ先】

(取材のお申込み)

株式会社インフォマティクス 石橋 紀彰 (いしばし のりあき) 氏

電話 : 044-520-0850

E-mail : noriaki.ishibashi@informatix.co.jpWebsite : <http://www.informatix.co.jp/>

(JICA 中小企業海外展開支援事業に関する問い合わせ)

JICA 横浜国際センター 総務課 平野、広瀬

電話 : 045-663-3252

Website: https://www.jica.go.jp/sme_support/index.html

【2016年本邦受け入れ活動 全体日程】

日付	活動内容	場所
11/14 (月)	来日	
11/15 (火)	インフォマティクス本社表敬(表敬・自己紹介・研修内容紹介) 空間情報に関する講義 GIS と統合型 GIS に関する講義	インフォマティクス本社
11/16 (水)	GIS アプリケーションに関する講義 統合型 GIS を用いた情報共有に関する講義	インフォマティクス本社
11/17 (木)	(移動 川崎 ⇒ 静岡) 静岡県における統合型 GIS の活用を視察 (移動 静岡 ⇒ 川崎)	静岡県庁
11/18 (金)	横浜市消防防災における GIS の活用、横浜市民防災センター視察 研修成果報告会(研修生によるプレゼン発表)及びディスカッション	横浜市民防災センター JICA 横浜国際センター
11/19 (土)	帰国	